

# Mizuho Daily Market Report

2024/5/23

## 為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	156.41	156.80	+0.63	+1.92
EUR	1.0857	1.0823	▲0.0031	▲0.0061
AUD	0.6660	0.6620	▲0.0046	▲0.0074
SGD	1.3478	1.3508	+0.0035	+0.0056
CNY	7.2397	7.2413	+0.0037	+0.0223
MYR	4.6966	4.6968	+0.0000	▲0.0095
THB	36.34	36.32	+0.00	▲0.22
IDR	16008	15993	▲2	▲35
PHP	58.07	58.07	▲0.18	+0.52
INR	83.27	83.28	▲0.03	▲0.22
VND	25462	25462	+1	+8

## 金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.422%	+1.0 bp	+8.2 bp
日本(10年)	1.009%	+2.9 bp	+5.3 bp
ユーロ圏(10年)	2.534%	+3.5 bp	+11.2 bp
オーストラリア(5年)	3.974%	+3.8 bp	▲3.0 bp
シンガポール(5年)	3.259%	+0.0 bp	+3.0 bp
中国(5年)	2.114%	▲0.8 bp	▲1.4 bp
マレーシア(5年)	3.682%	+0.0 bp	▲2.2 bp
タイ(5年)	2.533%	+0.0 bp	+3.7 bp
インドネシア(5年)	6.838%	▲5.7 bp	▲12.4 bp
フィリピン(5年)	6.400%	+0.6 bp	▲7.0 bp
インド(5年)	7.036%	▲2.4 bp	▲5.7 bp
ベトナム(5年)	2.200%	+5.0 bp	+0.0 bp

## 株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	39,671.04	▲0.5%	▲0.6%
N225(日本)	38,617.10	▲0.8%	+0.6%
STOXX50(ユーロ圏)	5,025.17	▲0.4%	▲1.5%
ASX(オーストラリア)	4,560.55	▲0.5%	▲0.8%
FTSE(シンガポール)	3,307.90	+0.0%	+0.6%
SSEC(中国)	3,158.54	+0.0%	+1.2%
SENSEX(インド)	74,221.06	+0.4%	+1.7%
JKSE(インドネシア)	7,222.38	+0.5%	+0.6%
KLSE(マレーシア)	1,622.09	+0.0%	+1.2%
PSE(フィリピン)	6,607.22	▲0.4%	+0.7%
SETI(タイ)	1,370.83	+0.0%	+0.0%
VNINDEX(ベトナム)	1,266.91	▲0.8%	+1.0%

## 商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	295.25	▲0.2%	+1.8%
金	2,378.85	▲1.7%	▲0.3%
原油(WTI)	77.57	▲2.1%	▲1.3%
銅	10,295.21	▲4.2%	+1.7%

\*1週間前の終値と比較

## 【本日の予想レンジ】

USD/JPY	156.10	—	157.50
EUR/USD	1.0740	—	1.0950
AUD/USD	0.6490	—	0.6790
USD/SGD	1.3390	—	1.3680
USD/CNY	7.1950	—	7.2480
USD/INR	4.6260	—	4.8050
USD/THB	35.90	—	37.40
USD/IDR	15880	—	16200
USD/PHP	56.20	—	58.30
USD/INR	82.30	—	83.70
USD/VND	25,000	—	26,000

## 【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:  
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department  
Tel: 65-6805-4100

## 【為替】

アジア時間のドル円は156円台前半でオープン。40年物国債の入札結果が弱めの結果となったことをきっかけに長期金利が11年ぶりに1%の大台に乗せたが、ドル円相場への影響は限定的で、一日を通してじり高推移。結局156円台半ばで海外時間に渡った。アジア通貨は全般的に横ばい推移。インドネシア中銀が金融政策の据え置きを決定したが、市場予想通りであり直後のマーケットの反応は限定的となった。

海外市場のドル円は156円台半ばでNYオープン。序盤は上昇していた米金利が低下する動きが上値を抑え、156円台前半まで小幅反落。続いて発表された米4月中古住宅販売件数は予想を下回るも、ドル円への影響は限定的となり、その後は下げ渋り156円台半ばまで徐々に戻す。NY午後には発表された米5月FOMCの議事録では、「様々な参加者が必要なら追加引き締めに向き」、「より長期に高水準での政策金利維持が望ましい」等との効派寄りの内容が示されると、ドル買いが再び強まり156円台後半にてクロスした。

## 【金利】

金利市場は、中期ゾーンで金利が特に上昇し、イールドカーブはフラット化。4月中古住宅販売件数は予想を下回り、発表後は債券買いが強まっていたが、買いが一巡すると売り戻しが見られた。NY午後には発表された20年債入札結果は好調となったが、利回りへの反応は限定的で、その後発表となったFOMC議事録に、政策金利の高水準維持で一致したとあったことから、引けにかけては金利上昇となった。

## 【予想】

本日のドル円は底堅い推移を予想。昨日公表されたFOMC議事要旨の内容を受け米金利の高止まりが長期化するとの見方が強まっている状況。また、昨日は円金利が上昇する中でもドル円相場への影響は限定的となっており、円買い材料を見出しづらい中、引き続きドル買い優勢の展開が継続すると予想。

## 【本日の予定】

(日本) 4月 工作機械受注(確)  
(日本) 5月 複合PMI(速) / 製造業PMI(速) / サービス業PMI(速)  
(アジア) 4月 シンガポール CPI  
(アジア) 4月 中国 SWIFT グローバル支払 CNY  
(アジア) 5月 インド PMI製造業(速) / PMIサービス業(速)  
(アジア) 5月 豪 消費者インフレ期待  
(欧州) 5月 ユーロ圏 消費者信頼感(速)  
(欧州) 5月 ユーロ圏 製造業PMI(速) / サービス業PMI(速)  
(欧州) 5月 独 製造業PMI(速) / サービス業PMI(速)  
(欧州) 5月 英 製造業PMI(速) / サービス業PMI(速)  
(欧州) G7財務相・中銀総裁会議(イタ/ア/ス/レ/サ)  
(米国) 4月 シカゴ連銀全米活動指数  
(米国) 4月 新築住宅販売件数  
(米国) 5月 カンザシティ連銀製造業活動  
(米国) 5月 製造業PMI(速) / サービス業PMI(速)  
(米国) TIPS入札(10Y)  
(米国) ホスティング・アトラク連銀総裁講演  
(米国) 新規失業保険申請件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。